

# 令和3年度全国学力学習状況調査の結果

京都市立宕陰小中学校  
(前期課程)

本年度の全国学力学習状況調査(6年生対象)の結果が文部科学省より届き、本校の特徴が明らかになりました。

## 国語科

全国平均・全市平均を上回り、全体的によくできています。

内容については、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」において、高い結果を示しました。

全国の正答率が非常に低かった「資料を読み、内容を把握した上でまとめて書く」という記述式問題もしっかり正答していました。

しかし、「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、課題がみられました。

今後は、文脈にあった漢字が書けるように、前学年の漢字も含め書き取り練習を繰り返して行ったり、ノート等に記述するときは既習のものは必ず漢字で書くようしたりするなど、日常生活の中で用いることに積極的に取り組むようにします。

語彙力を高めるために、新聞を読んだり、読書に親しんだりすることも大切にしたいものです。

## 算数科

全国平均・全市平均を上回り、全体的によくできています。

領域別では、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」において、高い結果でした。

○二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く

○30mを1とした1としたときに12mが0.4に当たる分けを書く

どちらも記述式で、全国の正答率が低かった問題でしたが、しっかり正答していました。

「数と計算」領域では、少し課題が見られました。立式の意味を大切にしながら、速く正確に計算できる力をつけていくようにし、問題に数多く取り組むことを励行します。また自分が解いた回答の確かめをすることも意識させたいと思います。



## 学習状況等についての質問紙調査から

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」、「将来の夢や目標を持っている」、「人の役にたつ人間になりたいと思う」、「地域の社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」という結果から、本校の宕陰キラキラ Talking Time の取組の成果や保護者地域の方々に見守られた中で夢や希望をもって生活していることが分かりました。

今後も小規模校の良さを大切にしたい個に応じた指導や取組を進めてまいります。各ご家庭におかれましては、今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びのための環境づくりにご協力をお願い致します。